

財務の概要

平成 24 年度は大学校舎や本院など主要な施設の将来計画を具体化する重要な年度に当ることから、本部、各部門・施設が共通認識に立ち、夫々の責任を明確にして計画を策定・進捗管理し、必達を期すことを目標とし予算策定に臨んだ。教育研究面では国際基準による外部評価を目指し、一層、教育・研究の質、成果向上を目標とした。医療面では各施設が持つ知恵とノウハウを動員して収入増につながる施策を積み上げ、診療単価、病床稼働率アップなど確実な医療収入の増収を図ること、支出面では人員の適正化、継続的に経常経費削減を目標とし、法人全体で帰属収支差額 10 億円の収入超過予算とした。平成 24 年度決算は、収入面で医療収入が目標を下回ったが、私大等経常費補助金の増加や、寄附金、受託研究等の外部資金費の増加により帰属収入が予算を 3 億 1 千 9 百万円超過し、逆に消費支出は人件費が予算を大きく下回ったことにより、予算を 7 億 4 千 3 百万円下回った。その結果、帰属収支差額は予算を 10 億 6 千 1 百万円上回る 20 億 6 千 1 百万円の収入超過、基本金を組入れた後の消費収支差額では 5 億 1 千 6 百万円の支出超過という結果となった。